

## 競技方法・注意事項

### 1. 競技方法

- (1) 予選リーグは3組で行い、その順位に従い決勝リーグへ進む。  
但し、4組の場合は1, 2位が1部、3位は2部、4位は3部へ進む。
- (2) 決勝リーグも3組で行い、各部1位が決勝トーナメントへ進む。  
但し、4組の場合は2位迄決勝トーナメントへ進む。
- (3) 団体戦決勝トーナメント（フリー、シルバー）
  - ①時間短縮のため、1試合目、2試合目は2コートを使用し、第1ペア、第2ペアの試合を同時進行する。
  - ②どちらかのチームが2勝した時点で終了する。
- (4) リーグ戦の順位は以下の順で決定する。
  - ①勝ち試合数 ②得失ゲーム差 ③得失ポイント差 ④直接対決 ⑤監督ジャンケン
- (5) 3位決定戦は行わない。
- (6) 試合前の練習は60秒とする。（タイマー使用）

### 2. 競技規則

- (1) 「全国スポンジボールテニス競技規則」に準じる。
- (2) デュースは予選・決勝リーグ戦は5点を上限とし、決勝トーナメントは7点を上限とする。
- (3) 危険防止のため、サイドラインを越えて隣のコートに入っている返球は認めない（失点とする）
- (4) 主審判定との混乱を防ぐため、選手は「アウト」とは言わない。「見て」「落として」「ウォッチ」等と言う。
- (5) コーチング、水分補給は、サイドチェンジをしたとき及びファイナルゲーム前に60秒以内とする。  
個人戦はパートナー以外はプレーヤーへのコーチングをする事は出来ない。
- (6) ケガの治療時間は1対戦につき2回、各5分以内とする。

### 3. 審判

- (1) 選任審判制とする（開いている組が行う。プログラムに記載）。
- (2) 主審・副審の2名で行う。但し1部優勝決定戦には線審を2名付ける予定。
- (3) 協議しても主審・副審の判断が一致しない場合はレットとする。  
また何かあれば本部に相談する。

### 4. 競技上の注意事項

- (1) 選手の呼び出しは館内放送及びLINEグループにて行うが、進行に注意する。
- (2) 団体戦オーダー表は対戦チームが持ち寄りコートで貼り合わせる。
- (3) リーグ戦順位決定に影響するので、スコアは得ゲーム、得点まで正確に記入し勝者が結果を本部に提出する。

### 5. その他

- (1) ケガに注意し、ウォーミングアップは各自行う。
- (2) 会場内は禁煙。電子たばこも禁止する。
- (3) ビデオ等の撮影は観覧席から行う（但し、本部の撮影は別）
- (4) 貴重品管理は各自行い、ゴミは各自持ち帰る。